

ビジネスパートナー

BP

ISSN 2185-3002

季刊

● さんいん

San-in

27号【秋号】
2016.10 AUTUMN

山陰経済経営研究所



特集鼎談

シエアリリングエコノミーで 社会に活力を

金谷元氣×根来龍之×上田祐司

インタビュー

リネンサプライを核に人生をサポート
地域経済の発展に幅広く貢献
株式会社岩多屋 取締役会長 岩谷百合雄

転倒事故を未然に防ぐ離床・起床 センサー「Mittell(ミッテル)」の 開発 ～鳥取から全国へ～

当社の取り組み

株式会社ジーアイシーは、測量、土木設計、地質調査を主とした建設コンサルタント業を営み、来年で創業三〇年となります。確かな技術をもとに、地球環境の保全と安心して暮らせる社会の構築を経営理念として掲げています。

約一〇年前からはシステム開発にも注力しています。冬季の積雪の状況をリ

モートで確認できる、積雪計・温度計・ライブカメラをパッケージ化した製品は、鳥取県が運営している道路情報配信サイト「とっとり雪みちなび」の観測局として採用されています。システム部門では、相談事から製品開発を行うことが多く、現在開発中の製品も、ある病院で課題となっていたことを知ったことが始まりです。

理想のタイミングで 離床・起床検出

簡単設置



設置時に電源を入れるだけでベッド位置を自動認識するオートキャリブレーション機能搭載。検知エリア及びベッドは約10秒で自動認識します。これにより機器の取外し・移動・取付が簡単にできます。

高精度検知



患者さんの頭部を自動認識します。見守り中にベッドが移動しても自動で再認識します。本製品は従来品にくらべて誤検知の発生が1/4以下と大幅に軽減されます。

ナースコール連動機能



圧力式センサーでは検出することが難しい、起床行動を始めたタイミングを、的確に検知します。検知結果はスムーズにナースコールへ伝達されます。

離床・起床検知モード切り替え



「離床」のみまたは、「起床・離床」の2モードに切り替えができます。これにより多くの患者さんの見守りが可能になります。

既設ナースコールにて通知

Mittell (ミッテル) 動作イメージ

医療事故を防ぐために
医療・介護の現場では転倒・転落が多く発生しています。その中でも多いのがベッドサイドでの事故です。認知症や睡眠導入剤などを服用した患者は「したい行動」と「できる行動」にギャップがあり、そのため、起きて車いすや歩行器に移動しようとした際に転倒することが多く、施設では予防策としてコールマットなどが利用されています。しかし、コールが反応してから病室に行くこと転倒後だったという事例が数多く報告されています。その他現状の製品では、設置が難しい、誤検知が多いなど課題が多くありました。



Mittell (ミッテル)

商品サービス概要

商品名：「Mittell(ミッテル)」

商品サービスに関しての問合せ先

住所：〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵城町125
TEL：0858-23-3553
FAX：0858-23-3554
HP：http://www.gicon.jp/
E-mail：info@gicon.jp
担当者：企画課 若木

画像処理技術を活用した「Mittell」の開発

課題を解決するために非接触式でタイムリーに通知できる技術を模索していたところ、鳥取県産業振興機構主催の知財ビジネスマッチングで、富士通(株)の画像認識に関する技術がオープン特許になっていることを知りました。この特許と当社の技術を組み合わせることができれば、課題が解決できると確信し、特許利用契約を締結して、製品化に向けて動きだしました。

製品名を「いつも見ているよ」の意味を込め「Mittell」としました。「Mittell」は設置が簡単、誤検知が少ない、転倒事故を未然に防ぐ最適なタイミングでナースコールができる等、これまでの課題を解決した製品となっています。

今後の展望

「Mittell」は、来年初頭には実際の医療・介護現場にて性能試験を行う予定です。その後、全国に向けて営業展開を実施していく予定です。

・ご商談につきましては、掲載企業に直接お問い合わせください。
・「会員企業のイチオシ！」では、新商品、新サービスの情報、広告を募集しております。
・本コーナーの掲載は、当社の賛助会員企業様に限り無料です。掲載ご希望の方は下記までお問い合わせください。
株式会社山陰経済経営研究所(担当:徳田)
Tel 0852-27-8258
E-mail daihyou@skeiken.co.jp